

笑顔のひろば

とりで障害者協働支援ネットワーク

第44号

1面：障害者就労の取り組み3年目は就労の実現を目指す 2面：障害をテーマにした講演会・勉強会3年間毎月実施 3面：防災講演会を開催／常総市障がい者の防災を考える連絡協議会に参加／つくばみらい市障害者防災講演会に参加 4面：第22回たんぼぼコンサート盛大に開催される／チャレンジの広場の開催／第43回定例会開催の案内／寄付金報告／発行・連絡先／会員募集・寄付金受け入れ

障害者就労の取り組み 3年目は就労の実現を目指す

地域社会では障害があることで能力があるにも関わらず就職のチャンスが得られないことが多く見られます。

とりで障害者協働支援ネットワーク（以下ネットワークという）ではかねてより「障害者の就労を考える」というテーマで毎年講演会を開催してきました。そんな中、一人のメンバーからネットワークはもっと積極的に一般就労に向けての支援をするべきだとの提案があり、平成27年度に障害者就労検討委員会を開設しました。委員会では



障害者就労検討委員会を毎月開催

取手地域在住の障害者が取手市近辺の企業に容易に一般就労できる環境づくりを目指します。また、障害者手帳を所持していない就労困難者も支援対象とします。

ほとんどの委員は就労支援の経験や知識もなく、まずは制度などの勉強から始めたのです。そして、隣県の我孫子市就労支援センターの活動内容を精査して参考にしました。初年度の目的は就労希望者の把握のためにアンケート調査を実施しました。その結果12人の就労希望者の回答を得て、就職できない、または就職しない理由、得意なことや苦手なこと、福祉サービスの利用や通院履歴などの有効な情報を得ることができ、分析の材料になりました。一定の就労希望者がいることがわかったので、市に就労支援センターの設立の要望を出したのですが、新たな事業を起こすには情報不足との指摘がありセンターの設立は保留になりました。

平成28年度は企業情報の収集に尽力しました。実際に就労困難者を採用している企業主や市議会議員の方々を委員会へ招聘しいろいろな意見をいただきました。

国の障害者雇用制度や補助金制度の勉強をし、企業への説明材料を揃えたり、企業への理解を求めるための説明などもしました。

それから茨城県ではジョブコーチが不足しているので取手独自のサポーター育成をして定着支援も考えています。

平成29年度からは今まで話し合った計画を実行に移すための行動を開始します。積極的に企業訪問して理解を求めるとともに、訓練目的でより多くの職種を体験させていただける協力企業を開拓していきます。なかなか簡単には行きませんが一人でも多くの障害者が就職できるように地道な活動を続けていきます。

（宮脇 貞夫 記）

障害をテーマにした講演会・勉強会 3年間毎月実施

～34回延べ802名（1回平均24名）参加～

長い間、障害者を支援する活動をしていながら障害の内容についてはよくわからないということで、平成26年2月から毎月1回講演会・勉強会を開催し、丸3年が経過しました。平成29年度は必要に応じて随時開催することにしますがこの3年間をまとめてみましょう。

通算で34回開催しましたが、うち4回（第7・9・13・26回）は大勢の皆様呼びかけ「講演会」としました。あとは10名～30名の勉強会でした。まず、参加者延べ人数は、34回で、802名（1回平均24名）でした。

テーマは、身体障害10回、精神障害5回、知的障害4回、障害全般15回でした。講師については、ネットワークの会員、市職員（障害福祉課・社会福祉課・高齢福祉課・国保年金課・教育委員会）、社会福祉協議会職員、緑寿荘施設長、伊奈特別支援学校・下妻特別支援学校職員・関係者、取手市外では、茨城県障害福祉課（出前講座）、竜ヶ崎保健所、茨城県立リハビリテーションセンター、ハローワーク竜ヶ崎、茨城県障害者職業センター、障害者就業・生活支援センターに依頼し、また、大学名誉教授・講師、民間経営者など多分野で活躍されている方々にもお願いし快く引き受けていただきました。

講師役の皆様は貴重な資料を準備してくださり、現在、ネットワークの“財産”になりました。このまま保管しておくだけではもったいないと考え、提供者の了解を得て、ホームページにアップし誰でも見られるようになるよう検討中です。

障害をテーマにした講演会・勉強会 思い出のアルバムから



第1回 高次脳機能障害



第4回 精神疾患



第8回 発達障害



第9回 難病



第10回 伊奈特キャラバン隊



第13回 内部障害



第23回 障害平等研修 (DET)



第28回 霞ヶ浦ラクスマリーナ



第34回 学校での障害者教育

防災講演会「利根川の決壊に備えて」の開催

1月28日(土)取手市福祉交流センターにおいて「利根川の決壊に備えて～利根川・小貝川の水害の歴史と防災～」をテーマに、国土交通省関東地方整備局利根川下流河川事務所所長 中村伸也氏による防災講演会を開催しました。会場は満席(200名)講師の話に熱心に聞き入っていました。



取手市は、利根川と小貝川の二大河川が流れる、水と緑に恵まれた自然環境にあるが、度重なる河川の氾濫や豪雨による水害に見舞われてきた。明治43年の大洪水以後は、河川改修事業が進み利根川自体の氾濫川

への逆流による小貝川氾濫の水害が目立つようになった。これは利根川下流の川幅が、利根町栄橋地点で半分になっているため、台風、長雨、豪雨の際に流水が悪く、増水時には小貝川高須付近まで逆流するためだった。昭和25年8月7日小貝川堤防決壊では、浸水家屋が

低地の農村部全般に及んだ。その後逆流が最小限で済むように工事を行ってきた。

中村氏は、住民の皆様は日頃から防災意識を高め、行政の情報に耳を傾け、隣人との協力関係を作ること、最後に「自分の身を守る自助努力が大事です」と強調していました。

常総市障がい者の防災を考える連絡協議会に参加

日時：2月18日(土) 13:30～15:30

場所：常総市社会福祉協議会 会議室

内容：常総市においても昨年ボランティア団体が障



者のための防災マニュアルを作成するために連絡協議会を立ち上げ、今回第5回目の会合に呼ばれて参加しました。

取手での防災マニュアル作成の経緯と内容に

いて説明をし質問を受けました。

参加者：15名

ネットワーク参加者：村上、宮脇、武藤、井田

つくばみらい市障害者防災講演会に参加

日時：2月23日(木) 10:00～12:00

場所：つくばみらい市健康福祉センター

内容：つくばみらい市健康福祉部健康増進課の依頼を受けて、「障害者(児)の防災について、「障がい者のための防災マニュアル」をもとに説明をし質問にお応えしました。

参加者：32名(障害児保護者・ボランティア等)

ネットワーク参加者：村上、宮脇、井田



第22回たんぽぽコンサート盛大に開催される



青年学級 YMO の合唱 練習の成果が出ていました

日時：2月5日（日）10：00～15：00
場所：取手市福祉交流センター 多目的ホール
内容：「みんなでうたって！踊って！たのしんで！
だれもが音楽でひとつになる感動を…」を
掲げて今回で22回目。14団体・個人の
皆様の演奏参加がありました。今回は来場者
が多く、最後まで満席に近い状態で、演奏者
と来場者が一体となった素晴らしいコンサ
ートでした。 参加者：160名

今年度最後のチャレンジの広場

日時：2月26日（日）13：30～14：00
場所：取手市福祉交流センター 多目的ホール
内容：ポッチャ、吹き矢、輪ゴムリレー
参加者：39名

◇次回は、4月23日(日)13:30~16:00 市体育館◇



吹き矢が的の真ん中に、すごい！

第43回定例会開催のお知らせ

定例会は年4回（4，7，10，1月）開催しています。平成29年度第1回目の定例会は、総会に当たります。皆様の出席をお願いします。

ネットワークは、会員・市担当部・社会福祉協議会・市議会議員・民生委員で構成しています。会員でない障害者支援団体・個人の方もお気軽にご参加ください。

◇日 時 平成29年4月21日（金）10：00～12：00

◇場 所 取手市福祉交流センター 多目的ホール

◇議 題 平成28年度事業報告／会計報告／平成29年度事業計画・予算等

ご寄付ありがとうございました

林 京 様 3,000円

ネットワークのホームページが、2月1日から閉鎖中でしたが、再開しました。（左下参照）

とりで障害者協働支援ネットワーク会報

「笑顔のひろば」第44号

□発 行：平成29年3月1日

□発行所：とりで障害者協働支援ネットワーク

□発行者：染野和成

□編集者：村上 節 鈴木澄利

□連 絡：村上 節

TEL/FAX 0297-72-4398

E-mail：toridemurataka@jcom.home.ne.jp

HP：http://toridessnet.webcrow.jp/

ネットワークの趣旨に賛同する皆様の参加、ご協力をお願いします。随時入会を受け入れておりますのでお申し出ください。

寄付金についてもよろしくをお願いします。

○会費（年額）

(1)正会員 団体1口 1,000円 1口以上
個人1口 500円 1口以上

(2)賛助会員（団体・個人）

1口 1,000円 1口以上

■会費・賛助会費・寄付金の振込先■

口座番号 常陽銀行 取手支店

普通 1887469

口座名義 障害者協働支援ネットワーク

代表 染野 和成